

## 学科も製図も過去問の把握なく合格なし

① H21からR6の**過去問を把握する**



② R6の**標準解答図は徹底把握する**



③ **過去問の理解なく製図合格はなし**

建築資格研究会 : [www.kenchiku-shikaku.net](http://www.kenchiku-shikaku.net)

1級製図、令和7年に合格するぞ「過去問を制する者は製図を制する」について解説します。

学科試験も製図試験も、過去問の把握なくして合格はありません。

ここで重要なのは、どのように過去問を把握するかという点です。

研究会は次の2点を解説します、それが過去問の学習に重要であると判断しているからです。

① 平成21年から令和6年までの過去問を把握する。

② 令和6年の標準解答図は、徹底的に把握する。

この2つの理解なくして製図試験は合格できません。

今のこの時期である課題発表前に、この点は学習すべき内容です。

## ① H21からR6の過去問を把握する

### 製図課題(H21～R6)の項目別分析を解説

#### (製図試験も過去問分析が王道)

6/4解説【項目(1)】	I. 設計条件(前文)
6/5解説【項目(2)】	1. 敷地及び周辺条件
6/6解説【項目(3)】	2. 建築物(1)本文
6/7解説【項目(4)】	2. 建築物(2)要求室一覧表
6/8解説【項目(5)】	3. その他の施設
6/9解説【項目(6)】	4. 計画の留意事項
6/10解説【項目(7)】	1. 要求図書(2.面積表)
6/11解説【項目(8)】	3. 計画の要点等

① 平成21年から令和6年の過去問を把握するについて解説します。

ここは、項目別に分けて分析して把握すると理解度が高まります。

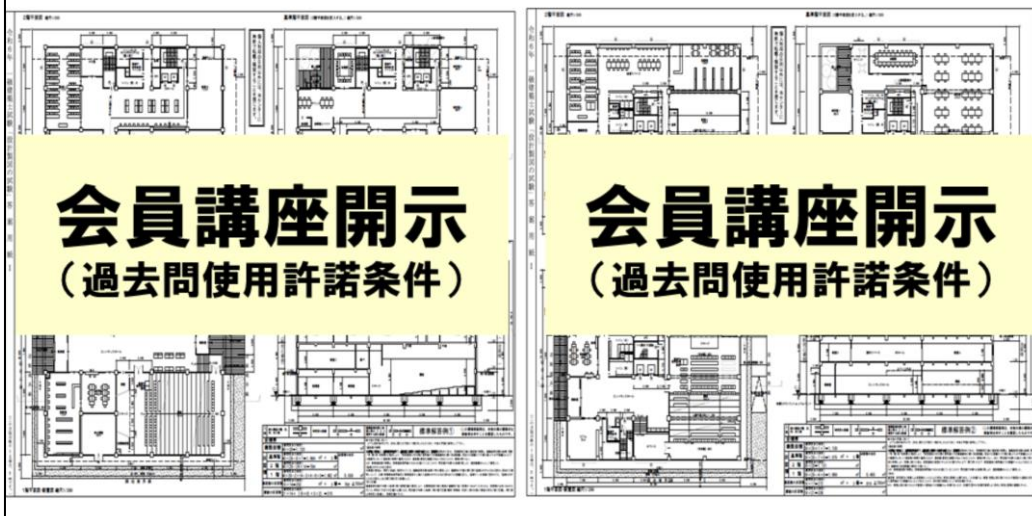
研究会では、次のように項目を振り分けています。

なお、それぞれを明日から下記の日時で解説します。

6月4日解説【項目(1)】	I. 設計条件(前文)
6月5日解説【項目(2)】	1. 敷地及び周辺条件
6月6日解説【項目(3)】	2. 建築物(1)本文
6月7日解説【項目(4)】	2. 建築物(2)要求室一覧表
6月8日解説【項目(5)】	3. その他の施設
6月9日解説【項目(6)】	4. 計画の留意事項
6月10日解説【項目(7)】	1. 要求図書(2.面積表)
6月11日解説【項目(8)】	3. 計画の要点等

## ② R6の標準解答図は徹底把握する

R6の標準解答図はR7の合格へ直結する  
(この図面を徹底分析せずして合格はなし)



② 令和6年の標準解答図は徹底把握するについて解説します。

ここは、昨年の課題、標準解答図①と②を徹底的に把握します。

直近の課題とその参考解答図は、令和7年の製図試験を合格するために必ず理解すべき内容です。

何が法適合として重要なのか、プランは動線はどうすべきなのか、ここに解答があります。

### ③ 過去問の理解なく製図合格はなし 過去問には合格するための要因が全てある (8月の資格学校の講座は過去問学習なし)

7月末の課題発表後での**資格学校**の8月からの学習は、その年度の課題の検討から入る。その次の週からの学習は、様々な**予測課題**の作図等の学習である。

しかし、学科試験もそうであるように製図試験も**過去問分析**こそが**最重要**である。なぜなら、どのような図面が合格できるのか等が全て示されているからである。つまり、過去問学習ほど**合格必須事項**である。

資格学校を非難するつもりはありません。

長期講座を受けている方は、課題発表前に過去問の学習をしています。

しかし、7月末の課題発表後に受講する方は、その年度の課題の学習に入り、過去問の学習(詳細解説)は殆どありません。

今年の7月末から受講する方は、是非、研究会の項目別過去問分析(H21～R6)を休日に1日かけて熟読ください。

それだけで、過去問学習は終了します。

そして、この過去問の理解なく製図の合格はありえません。

以上で1級建築士の製図試験における、「令和7年、過去問を制する者は製図を制する」の解説を終了します。